

液化石油ガス料金 令和 2 年 7 月検針分

■ 料金表

湖陽住宅団地

	1カ月の ご使用量	基本料金 【1カ月につき】	7月分 従量料金単価 【1m ³ につき】	(参考) 6月分 従量料金単価 【1m ³ につき】
A	0~8.0m ³	726.0000円 (660.00円)	430.1000円 (391.00円)	442.6620円 (402.42円)
B	8.1m ³ ~	806.0800円 (732.80円)	420.0900円 (381.90円)	432.6520円 (393.32円)

() 内は消費税等相当額加算前

瑞樹団地

	1カ月の ご使用量	基本料金 【1カ月につき】	7月分 従量料金単価 【1m ³ につき】	(参考) 6月分 従量料金単価 【1m ³ につき】
A	0~8.0m ³	726.0000円 (660.00円)	410.0250円 (372.75円)	422.5870円 (384.17円)
B	8.1m ³ ~	806.0800円 (732.80円)	400.0150円 (363.65円)	412.5770円 (375.07円)

() 内は消費税等相当額加算前

南森本

	1カ月の ご使用量	基本料金 【1カ月につき】	7月分 従量料金単価 【1m ³ につき】	(参考) 6月分 従量料金単価 【1m ³ につき】
A	0~8.0m ³	726.0000円 (660.00円)	414.3260円 (376.66円)	426.8880円 (388.08円)
B	8.1m ³ ~	806.0800円 (732.80円)	404.3160円 (367.56円)	416.8780円 (378.98円)

() 内は消費税等相当額加算前

大浦・東蚊爪

	1カ月の ご使用量	基本料金 【1カ月につき】	7月分 従量料金単価 【1m ³ につき】	(参考) 6月分 従量料金単価 【1m ³ につき】
A	0~8.0m ³	726.0000円 (660.00円)	401.6760円 (365.16円)	414.2380円 (376.58円)
B	8.1m ³ ~	806.0800円 (732.80円)	391.6660円 (356.06円)	404.2280円 (367.48円)

() 内は消費税等相当額加算前

料金計算式

早収料金 = 基本料金 + 従量料金単価 × ご使用量 [円未満切り捨て]

《具体的計算例》

湖陽住宅団地で1カ月のご使用量が10.0m³の場合（「湖陽住宅団地」の「料金表B」が適用されます）

早収料金 = 732.8円 + 381.9円 × 10 m³ = 4,551円 [円未満切り捨て]

→ ご請求額（消費税込み） 5,006円

液化石油ガス料金 令和 2 年 7 月検針分

■ 原料価格の変動状況

(1)平均原料価格の実績

	令和2年2月～令和2年4月 (7月検針分に適用)	令和2年1月～令和2年3月 (6月検針分に適用)
平均原料価格	45,250円/ト	50,930円/ト
LPG (プロパン) 平均輸入価格 (貿易統計値)	45,250円/ト	50,930円/ト
基準平均原料価格 [※]	86,340円/ト	

※ 料金改定時に設定した原料価格 (本市は平成26年9～11月の3ヶ月間の平均値)

 (2)1m³あたりの単位料金調整額の算定方法

①原料価格変動額の算定

45,250円/ト (平均原料価格) - 86,340円/ト (基準平均原料価格) = ▲41,000円/ト [100円未満切捨て]

 ②1m³あたりの単位料金調整額の算定 (消費税抜き)

▲41,000円/ト (原料価格変動額) / 100円 × 0.204 ^{※1} = ▲83.64円/m³ ^{※2}

※1 変動額100円につき単位料金を1m³あたり0.204円調整

※2 マイナス調整の時は小数第3位を切り上げし、プラス調整の時は小数第3位を切り捨てる

 (3)1m³あたりの単位料金調整額の比較 (対前月/税抜き)

令和2年7月分 調整額(A)	令和2年6月分 調整額(B)	差額(A)-(B)
▲83.64円/m ³	▲72.22円/m ³	▲11.42円/m ³

 (4)平均的なガス使用量のご家庭 (10m³/月[※]) における影響額 (一般料金: 税込)

地区	令和2年7月分 適用料金 (A)	令和2年6月分 適用料金 (B)	影響額 (A) - (B)
湖陽住宅団地	5,006円	5,132円	▲126円
瑞樹団地	4,805円	4,931円	▲126円
南森本	4,848円	4,974円	▲126円
大浦・東蚊爪	4,722円	4,847円	▲125円

※ 10m³/月は、家庭用のお客さま1件あたりでの平均ガス使用量

(平均ガス使用量は、平成18年度～平成22年度の5カ年平均により算定しています)